

平成28年度 公益社団法人岐阜県森林公社事業計画書

総括事項

当公社は、昭和41年に発足以来、本年度で設立50年の節目を迎えることとなります。この間、国・県の森林資源整備の推進を担うため、分収林制度に基づいて計画的に森林整備を実施してきました。

一方、森林に対する水資源の確保、県土保全といった機能に加え、二酸化炭素吸収による空気の浄化や温暖化防止等環境保護の役割に関して県民の期待が高まっています。

岐阜県では「第2期岐阜県森づくり基本計画」に基づき「恵みの森林づくり」、「生きた森林づくり」に取り組んでおり、森林公社においてもこの計画の視点にたって事業展開を図ることとします。

当公社の中核事業である分収造林事業については、これまでの整備実績と森林の現状を点検し、森林の持つ公益的機能を長期的に維持するとともに、効率的かつ安定的に木材生産を進めることを目標とする「第6期分収林計画」を新たに策定したところであり、本年度は、この計画に基づき利用間伐を中心とした木材生産事業を計画的に実施します。

また、木材価格の長期低迷及び労務単価の上昇など森林公社を取り巻く経営環境は厳しさを増していますが、平成24年度から取り組んでいる経営改善計画（アクションプラン）を着実に実行するとともに、当計画の実績を踏まえ、平成29年度からの新たな経営改善計画の策定に取り組みます。

白山林道事業については、石川県林業公社や地元関係者等と協力して大型バスの利用増対策を主に、利用台数増加に向けた広報宣伝に取り組めます。

また、利用者の増加に対する利便性、安全性を確保する整備事業を実施します。

林業労働力対策事業については、林業労働力の確保及び育成のため、県と連携を図りながら引き続き「緑の雇用対策事業」及び「林業就業支援講習」等に取り組めます。

1 森林環境整備事業

(1) 分収造林事業

ア 計画的な施業の実施

新たに策定した「第6期分収林計画」に基づいて、合理的な路網整備や効率的、計画的な間伐、木材生産を行うため、公社造林地単独又は周辺の民有林と共同による公募型プロポーザル方式により森林経営計画を策定します。

イ 事業の適正実施

事業の実施については、森林整備区分を基本に事業内容や箇所を精査するとともに、有利な助成制度を積極的に活用します。

また、事業の発注は、競争の原理を取り入れ、契約の透明性を確保します。

ウ 長伐期施業への転換

森林の持つ公益的機能の継続的な発揮や森林資源を有効活用するため、長伐期施業への転換を進めており、経営改善計画期間中に終了することを目標にして地元市町村や関係森林組合の協力を得ながら取り組みます。

特に、平成30年度から契約満了を迎える契約地については、重点的に契約更改の働きかけを行い、長伐期施業への同意が得られない契約者については契約満了に伴う主伐等の対応を進めます。

全契約件数	契約更改済件数	平成28年度計画件数
1,251件 (平成28年3月末見込)	1,045件 (平成28年3月末見込)	206件

エ 分収割合の変更

木材価格、労務費等諸情勢の変化に対応した経営改善を進めていますが、長期的な健全経営を確保するために、平成28年度から、分収割合の変更について取り組みを進めます。

(2) 家族ぐるみの森林造成事業

昭和63年度より美濃市極楽寺地内で造成中の「家族ぐるみの森」については、各オーナー自身による森林に必要な整備を行うよう情報提供及び指導を行います。

(3) 県営林等整備事業

岐阜県からの委託を受け、県営林について巡視等の管理のほか、森林整備事業を行います。

森林環境整備事業 事業計画一覧表

事業区分	事業量	事業費	備考
分収造林事業		309,146千円	
保育費	877ha	244,316千円	
雪起し	5.00ha	1,876千円	
枝打1	22.00ha	3,725千円	
枝打2	70.00ha	11,198千円	
除伐	10.00ha	2,015千円	
保育間伐	350.00ha	66,098千円	
利用間伐 胸高直径 22cm 未満	41.00ha	15,647千円	
利用間伐 胸高直径 22cm 以上	259.00ha	121,309千円	
クマ剥ぎ防除	120.00ha	22,448千円	
作業路費		49,810千円	
作業路開設	10,000m	45,000千円	
作業路補修	3,700m	4,810千円	
現況調査費	137箇所	15,020千円	
分収林施業転換促進事業	142 件	10,042千円	
家族ぐるみの森林造成事業	3.00ha	13千円	
県営林等整備事業	126箇所 4,891ha	30,000千円	

2 白山林道管理事業

平成27年度は愛称を「白山白川郷ホワイトロード」に改め、また、通行料金も従来の基準価格の約半額とした結果、利用台数は対前年比 139%となり 21,816 台多い 77,530 台となりました。

しかし、地域の観光振興に大きな役割を果たす大型バスの利用台数が前年度を下回ったため、今年度は、石川県林業公社や地元関係者等と協力して大型バスの利用増対策に取り組めます。

また、世界文化遺産の白川郷への観光コース及び近年多くなっている三方岩岳登山トレッキングなどを広報宣伝して、より一層の利用台数の増大を目指します。

利用者の増加が予想されるため利便性、安全性、管理性を考慮した整備及び維持管理等の工事を実施します。

白山林道管理事業 事業計画一覧表

区 分	内 容	備 考
利用見込み	利用見込み台数 80,000 台 利用料収入見込み 54,819千円	配分率42.56% (H27より固定)
利便性対策	愛称変更事業 48,000千円 公衆トイレ新築 パトロール車更新 PR用DVDの制作等 安全丸太柵、ブナのこみち修繕等	
安全性対策	県単改良事業 55,000千円 法面保護工 2,195 m ² 橋梁点検 3箇所	
管理対策	維持補修工事 44,000千円 除雪、舗装、安全施設工事 外	

3 林業労働力対策事業

(1) 支援センター事業

林業労働力の確保及び育成を図るため、新規就業希望者、森林技術者のキャリアアップ、架線作業主任者の養成のための各種研修を行います。また、「緑の青年就業準備給付金事業」により林業へ就業しようとして一定のカリキュラムによる教育を受ける者に対し給付金を支給します。

(2) 雇用改善事業

林業事業体の雇用管理の改善や就業希望者に対する相談・指導を行います。

(3) 雇用安定化事業

新規の林業就業者に対して、技術研修や新規就業の準備に必要な資金の貸し付けを行います。

林業労働力対策事業 事業一覧表

事業の種類		内 容		備 考
支援センター事業	林業就業支援事業	就業希望者を対象にした森林・林業に関する基礎を習得するための研修(全森連)		10人14日間 2回
	「緑の雇用」現場技能者育成対策事業	林業作業士研修 (フォレストワーカー研修)	1年目	15人35日間 1回
			2年目	20人25日間 1回
			3年目	15人17日間 1回
		現場管理責任者研修 (フォレストリーダー研修)	5年以上	20人15日間 1回
		指導員能力向上研修	実地(OJT)研修における林業事業体の指導員の能力向上研修	20人 3日間 1回
		監督・検査業務	林業事業体が実施する「緑の雇用」現場技能者育成対策事業に関する監督・検査	90日
	林業架線作業リーダー養成事業	素材生産作業に必要な講習等の参加支援	林業架線作業主任者養成研修	10人26日間 1回
緑の青年就業準備給付金事業		岐阜県立森林文化アカデミー等において、林業への就業に向けて必要な知識・技術の習得を目的として教育を受ける者に対して、資金を給付		30人 年間150万円以内の給付
雇用改善事業	雇用管理の改善に係る相談、指導	事業主からの雇用管理改善に関する相談の対応、事業主に対する雇用管理の改善等の指導		随時
	雇用情報の収集、提供	雇用改善のための推進会議に出席 雇用改善に係る情報を収集し、事業主等に提供		訪問等 随時
	雇用管理セミナー	事業体等を対象に雇用管理の改善のためのセミナーを開催		1回
	林業就業希望者に対する相談、指導	就業希望者からの相談に対応		随時 就業相談会 10回
雇用安定化事業	就業研修資金	林業就業予定者が、就業に必要な林業技術又は、経営方法等の研修受講に必要な資金		
		貸付対象者	貸付限度額	償還期間
		就業予定者	月額5～15万円	20年以内(据置4年以内)
	就業準備資金	認定事業主	月額4～12万円	13年以内(据置4年以内)
		林業就業予定者が、就業に必要な移転その他事前活動に必要な資金		
		貸付対象者	貸付限度額	償還期間
		就業予定者	150万円	20年以内(据置4年以内)
		認定事業主	120万円	13年以内(据置4年以内)